

水害から暮らしを守り、川づくり、街づくりへつながる河川事業をめざします。

洪水に強い安全な地域をめざします。

河川事業

天竜川上流域の主要な区間では、100年に1回くらい起こる大雨による洪水に耐えられる治水計画が立てられており、河川とダムの整備により洪水対策を行うことになっています。天竜川上流河川事務所では河川の整備を行っています。



飯田市松尾地区の浸水状況

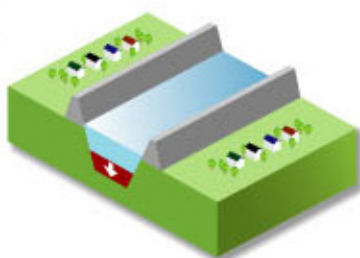
堤防づくりや川底の掘削など河川の整備に取り組んでいます。

河川改修

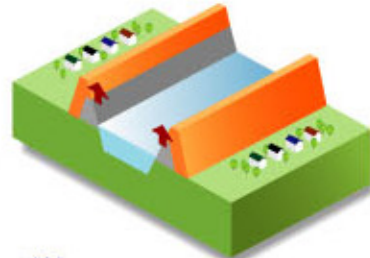
洪水に対する安全性を高めるため、川の水が流れるところ(河道)を広げ、水が強くあたる箇所に護岸をつくるなど河川整備に取り組んでいます。

河川改修の主な手法

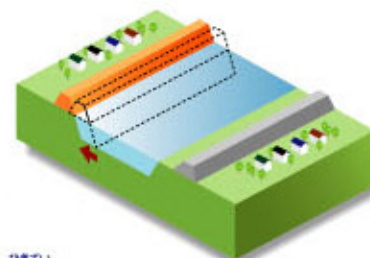
地形・地質・堤防周辺の土地利用状況など、地域の条件に適した手法を選びます。



河道掘削
川底を掘ることにより水の流れる場所を大きくし、水位を下げます。



かさねあがり
堤防を高くすることにより、川の水の流れる場所を大きくします。



ひらいてい引堤
川幅を広げることにより、川の水の流れる場所を大きくし、水位を下げます。



着手前

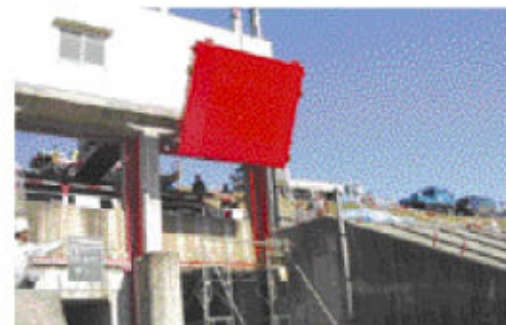
完成

河川改修の例

伊北地区(辰野町樋口)の引堤
天竜橋から昭和橋の間約14kmでは、川幅を広げる河川改修が行われました。

河川管理施設の修繕

災害に備え、設備の修繕を行っています。



樋門(水門)修繕



護岸修繕

堤防の除草

堤防への不法投棄の防止、亀裂・崩落の早期発見などのために、貴重な植物に配慮しながら除草を行っています。最近では、ラジコン草刈機を導入し、低コストで安全な除草を実施しています。



ラジコン草刈機による堤防除草

刈草・伐採木の有効利用

除草や修繕などで発生した刈草・伐採木は、自然環境に配慮して野焼きをせず、無料で地域の方に提供しています。



刈草



伐採木

昭和58年の災害
湍流であふれる天竜川と
浸水した飯田市松尾地区



河川巡視 (パトロール)

堤防の亀裂、陥没などの異常や不法投棄などの早期発見に努め、対応しています。



堤防の陥没(写真中央ポール部分)

洪水に備え万全な状態づくりに取り組んでいます。

河川管理

天竜川上流河川事務所では、天竜川本川と支川を合わせた約130kmを管理しています。近年では、堤防の除草作業で刈り取った“刈草”や、護岸の修繕工事で発生した“伐採木”を地域の方に無料で提供し、刈草は飼料や堆肥などに、伐採木は暖炉用の薪などに有効利用されています。